

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県神戸市 新長田駐車場

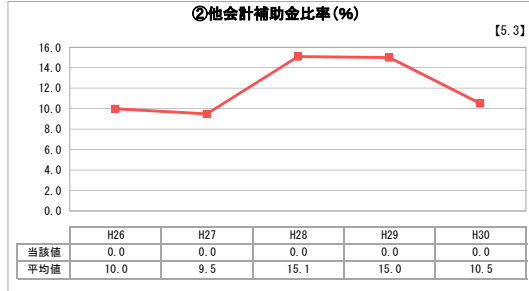
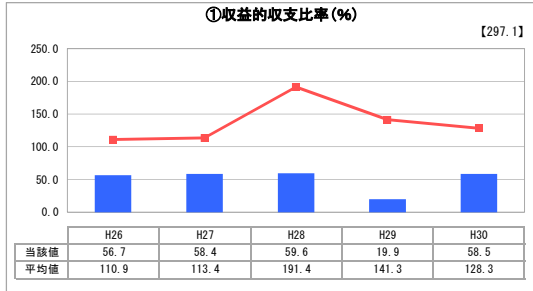
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	44	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	9,414
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
220	200	代行制

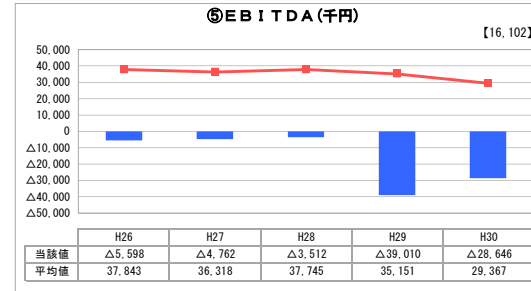
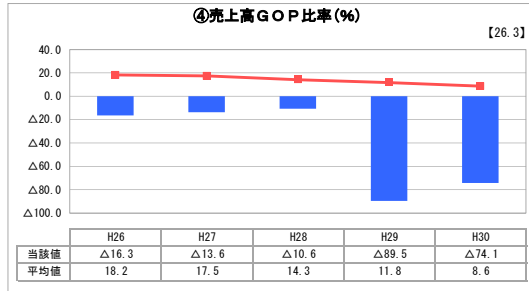
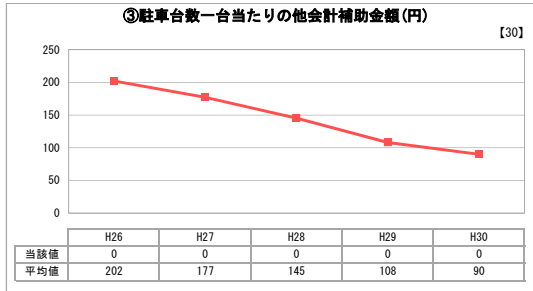
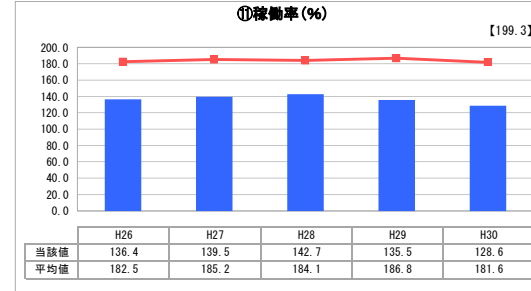
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

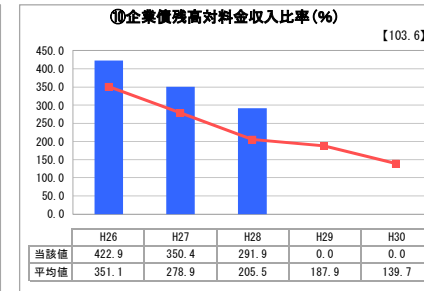


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

104,771



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益の収支比率について、100%を下回る赤字であり、類似施設平均を下回っている。④売上高GOP比率及び⑤EBITDAは、減少傾向であり、類似施設の平均を下回っている。周辺商業施設利用者の変化や、近隣民間駐車場との価格差が原因であると考えられる。引き続き、経営状況の改善に努めていく。

2. 資産等の状況について
 ⑧設備投資見込み額は少ない。しかしながら、供用開始から40年以上経過する駐車場である。⑩企業債残高対料金収入比率は平成29年度より0となっており、必要な設備更新に対する投資を計画的に行っていく。

3. 利用の状況について
 ①稼働率について、類似施設平均を下回っている。供用開始時と比べ、近隣の民間駐車場が増えたことが原因と考えられる。

全体総括
 経営状況を改善し、老朽化に対応する設備改修費用や土木修繕費用を賄う必要がある。新たな取り組みとしてカーシェアリング事業を開始するなど、引き続き、指定管理者と連携して、周辺施設への営業や利用者サービスの向上に取り組んでいきたい。